

【資料 I】

教科種目名《生活(生活)》

※詳細については、資料Ⅱ(生活-8～生活-16)を参照

発行者の略称	東書	書名	どきどき わくわく 新編 あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新編 新しい 生活 下
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、自分たちで作ったおもちゃで遊んでみて思ったことを友達と話す活動が『もっとよくごくおもちゃにしよう』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、水をどうしたら遠くに飛ばせるかを考える活動が『みずであそぼう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、友達と一緒にできるようになったことを振り返って絵本などにまとめる活動が『自分のことをまとめよう』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、児童がうさぎなど動物の世話の中で動物の温かさを感じる活動が『どうぶつのせわをしよう』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「公共心」について、図書館を色々な人が利用できるようにするための工夫を見つける活動が『図書館のことを聞いてみよう』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、和菓子屋など地域で働く方に仕事のやりがいをインタビューする活動が『まちの人に聞きに行こう』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、友達と対話をしながらアサガオの種を数え、取った種をどうするかを考える活動が『たねをとろう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、図画工作科と関連して、ドングリや落ち葉を使っておもちゃを作る活動が『あきのおもちゃをつくらう』に設定されている。</p> <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、観察カードに記入する際の視点や必要な事柄、自分の気持ちを書く、話す活動が『はなのようすをつたえよう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、地域の方と一緒にかるたやお手玉などで遊ぶ活動が『むかしからつたわるあそびをたのしもう』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、紙コップやストローなどの身近な材料を使っておもちゃを作る活動が『いろいろなおもちゃであそんでみよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、入学前を振り返り、学校でやってみたいことを考える活動が『がっこうのいちにち』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、和菓子屋の商品をICT機器で撮影してデジタルアルバムにする活動が『まとめようつたえよう』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、学校探検の際に気を付けることが『ともだちとがっこうをたんけんしよう』に掲載されている。</p> <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『まちのしせつ』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、自分ができるようになったことを身近な人にインタビューする活動が『自分のことをまとめよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、自分が住んでいる町について調べ、友達と共有する活動が『まちのすてきを話し合おう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 児童の興味・関心を喚起させるような題材として、植物の成長過程や野菜への思いを記録する活動が『ぐんぐんそだてわたしの野さい』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 上巻には学校生活に関する『がっこうだいすき』など9単元、下巻には身近な地域に関する『どきどきわくわくまちたんけん』など9単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

教科種目名《生活(生活)》

※詳細については、資料Ⅱ(生活-8～生活-16)を参照

発行者の略称	大日本	書名	新版 たのしいせいかつ 上 だいすき 新版 たのしいせいかつ 下 ひろがれ
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、ことごと車などのおもちゃを作って、面白さを友達と共有する活動が『くふうしたら楽しいよ』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、しゃぼん玉を大きくするための工夫を考える活動が『なつはおもしろいことがいっぱい』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、育てた野菜を使って家族のために料理を作る活動が『みんなで食べるとおいしいね』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、虫が自分と同じように生き物を食べて生きていることを観察する活動が『生きているってすごい』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「公共心」について、歩道を歩く、車に気をつけるなどの交通マナーを守って町探検を行う活動が『しゅっぱつ！町のキラリたんけんたい』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、郵便局で働く方などに仕事のやりがいをインタビューする活動が『しゅっぱつ！町のキラリたんけんたい』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、おもちゃ作りで友達の工夫を聞いて、おもちゃを改良する活動が『くふうしたら楽しいよ』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、道徳科と関連して、先生や友達に感謝の気持ちを手紙で伝える活動が『ありがとうをとどけよう』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、生活科で学んだことをパンフレットにまとめる活動や画像を使って発表する活動が『ようこそ自分のはっぴょう会へ』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本各地の祭りや外国の祭り、盆踊りの様子を絵日記に描く活動が『夏休みにやりたいことはね』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、見る、聞く、触るなどの諸感覚を働かせて観察する活動が『まなびかためいじんかんさつめいじん』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、入学前を振り返り、学校でやってみたいことを考える活動が『できるよやってみよう』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、タブレット端末を活用して写真に撮った虫を観察し、友達と交流する活動が『なかよくなったらわかったよ』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、学習の振り返りを表すマークが『たのしいよ1ねんせい』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『インタビューのやり方』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、幼児期からの自分の成長をまとめる活動が『小さかったころの自分に会いに行こう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、町探検で出会った人を通して自分のよさを見つける活動が『わたしもキラリさんになれるかな』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 児童の興味・関心を喚起させるような題材として、秋の自然物を使った遊びや幼児と交流する活動が『ようこそあきのテーマパークへ』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 上巻には学校生活に関する『みんななかよし』など4単元、下巻には身近な地域に関する『わたしの町はっけん』など6単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルデザインをふまえた配色を工夫するなど、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。』と表記されている。</p>

【資料 I】

教科種目名《生活(生活)》

※詳細については、資料Ⅱ(生活-8～生活-16)を参照

発行者の略称	学図	書名	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、ばたばたカーなどのおもちゃの遊び方を友達に紹介する活動が『作ったおもちゃであそぼう』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、風を受けて走るおもちゃの車がどうすればはやく走るかを考える活動が『うごくおもちゃを作ろう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、幼児期から2年生までの自分の成長をまとめ、確かめる活動が『わかったことをまとめよう』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、責任を持って生き物を飼い続けることの大切さを考える活動が『かいつづけることができるかな』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「公共心」について、登下校の際に安全に通学路を歩くことや危険な場所に気を付ける活動が『あんぜんないきかえり』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、パン屋で働く方や消防士に仕事のやりがいインタビューする活動が『まちの人の話を聞こう』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、日当たりなどによってアサガオの種を植えたプランターをどこに置くか自分で考える活動が『たねをうえよう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連して、1年生を振り返り、1年間で学んだことを作文にまとめる活動が『1年生をふりかえろう』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、発表会で説明する際に、作文や絵を使うなど伝える工夫を考える活動が『わたしのこと、しらべてきたよ』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、こま回しやあやとり、けん玉などを地域の方に教えてもらう活動が『もっとあそびたいな』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、友達と野原へ行き、野草で草花遊びやタンポポの綿毛を吹いて遊ぶ活動が『みつけたはるであそぼう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、イラストや写真を見て、学校でやってみようことを考える活動が『どんなことをするのか』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、タブレット端末やデジタルカメラの使い方を知り、利用する活動が『せいかつか まなびかたずかん』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、学校探検の際のルールやマナーが書かれたイラストが『もっとくわしくしろ』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『道ぐのつかい方』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、友達とよいところを伝え合う活動が『みんなのいいところを見つけよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、お店で働く方々の工夫を知り、わかったことを発表する活動が『しらべたことをつたえよう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 児童の興味・関心を喚起させるような題材として、友達と関わりながら秋の自然物を使っておもちゃを作る活動が『見つけたあきであそぼう』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 上巻には学校生活に関する『がっこうたんけん』など7単元、下巻には身近な地域に関する『まちたんけん』など5単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4変型判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しています。』『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

教科種目名《生活(生活)》

※詳細については、資料Ⅱ(生活-8～生活-16)を参照

発行者の略称	教出	書名	せいかつ 上 みんな なかよし せいかつ 下 なかよし ひろがれ
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、作ったおもちゃの特徴を学習カードにまとめる活動が『うごくおもちゃを作ろう』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、和菓子屋で働く方の笑顔の秘密を見つける方法を考える活動が『もっと知りたいことを話そう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学校探検で学んだ気づきを家族に伝える活動が『もっともっとしりたいな』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、生き物を飼う際に生き物の気持ちになって接する活動が『生きものをさがそう』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「公共心」について、道路の歩き方、横断歩道でのマナーを守って町探検を行う活動が『たんけんの計画を立てよう』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、靴屋や図書館で働く方のやりがいをインタビューする活動が『えがおのひみつをさがろう』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、自分が育てているアサガオの成長を絵や日記などで表す活動が『なにをかんじたかな』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、特別活動と関連して、災害時の約束などの安全について考える活動が『学びのポケット』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語活動の育成について、植物観察をする際のポイントになる触る、比べる、結びつけるなどの活動が『まいにちみよう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、正月に行う凧揚げやかかるた、こま回しなどの伝承遊びを行う活動が『ふゆ休みをげん気にすごそう』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、聞く、嗅ぐ、触るなどの諸感覚を働かせて春を感じる方法や、野草での草花遊びの活動が『はるをみつけにいこう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、入学前を振り返り、学校でやってみたいことを考える活動が『はじめのいっぽ』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、自分が植えた植物の成長記録を画像で残す活動が『なえをうえよう』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、植物を育てることや観察するためのヒントが『たねをまこう』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『まちの自まん』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 知識及び技能の基礎としての「気づき」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、以前と今の自分を比べて成長をまとめる活動が『まわりの人に聞いてみよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、町探検で地域で働く方にインタビューして体験を伝え合う活動が『体けんをつたえ合おう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 児童の興味・関心を喚起させるような題材として、ドングリや落ち葉など秋の自然物でおもちゃを作る活動が『見つけたあきでつくろう』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 上巻には学校生活に関する『わくわくどきどきしょうがっこう』など9単元、下巻には身近な地域に関する『まちが大すきたんけんたい』など7単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

教科種目名《生活(生活)》

※詳細については、資料Ⅱ(生活-8～生活-16)を参照

発行者の略称	信教	書名	せいかつ 上 あおぞら せいかつ 下 そよかぜ
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、友達と一緒に牛乳パックやペットボトルを重ねて水に浮かせる活動が『どんなふねにしようかな』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、地域の方に聞いた民話を調べ、紙芝居で発表する活動が『ちいきのかたりべ』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、地域の方にお世話になり、豆腐が作れたことの感謝を伝える活動が『おもいでいっぱい生活科』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、ヤギの出産の様子や子育てを見守る活動が『いきものといっしょ③』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「公共心」について、バスや電車に乗った時にマナーを守って町探検を行う活動が『でんしゃののって』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、ケーキ屋で働く方にケーキの作り方をインタビューしている活動が『おみせやさん』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、牛乳パックを使い、友達と協力して子どもが乗れるほどの船を作る活動が『どんなふねにしようかな』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、音楽科と関連して、一緒に過ごし世話をしてきたヤギの歌を作る活動が『いきものといっしょ④』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、春探しで児童が見つけた植物や生き物について友達と伝え合う活動が『はるのおくりもの』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、凧揚げや羽根つきなどの正月に行う伝承遊びが『たのしいおしょうがつ』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、これから育てるアサガオの鉢選びや土づくりを友達と協力して行う活動が『めをだしてね』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、イラストや写真を見て、学校でやってみたいことを考える活動が『はじめましてせいかつか』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、1年生の思い出を振り返り、本やかかるた、まきものにまとめる活動が『もうすぐ二ねんせい』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、イラストや写真で学習の見通しを示し、活動中の安全への配慮が『あぶない!』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『あおぞら・そよかぜずかん』などに示され、画像などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、幼児期の洋服やおもちゃを友達と見せ合う活動が『小さいころのわたし』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、四季を通して、くり返し地域を訪れる活動が『いつものばしょへ』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 児童の興味・関心を喚起させるような題材として、2年間、赤ちゃんからヤギを育て、関わりながら世話をする活動が『いきものといっしょ』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 上巻には学校生活に関する『うれしいないちねんせい』など17単元、下巻には身近な地域に関する『わたしがすむ町』など13単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『この教科書は、必要な情報がより多くの人に伝わるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

教科種目名《生活(生活)》

※詳細については、資料Ⅱ(生活-8～生活-16)を参照

発行者の略称	光村	書名	せいかつ たんけんたい 上 はじめてが いっぱい せいかつ たんけんたい 下 はっけん だいすき
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、友達と動きを確かめながら、おもちゃを作る活動が『じまんのおもちゃにしよう』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、町探検で調べたことを新聞やポスターなどでまとめる活動が『しらべたことをまとめよう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活科の学習を振り返り、支えてくれた人を思い出す活動が『こんなにせいちょうしたんだね』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、ダンゴムシの赤ちゃんが生まれたことを発見する活動が『生きものをくわしく見てみよう』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「公共心」について、町を探検する時のルールやマナーを考える活動が『春のまちたんけんさくせんかいぎ』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、和菓子屋で働く方が行っている工夫をインタビューする活動が『まちの人の話を聞きに行こう』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、植物の世話をする中で、友達と対話をしながら困ったことを解決しようとする活動が『せわをつづけよう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、図画工作科と関連して、ドングリや落ち葉を使っておもちゃを作る活動が『おちばや木のみでつくろう』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、アサガオの成長の様子を記録する際のポイントを知り、学習カードを書く活動が『せわをしよう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、札幌の雪まつりなど地域ごとに季節の行事があることを知り、自分の地域の行事を調べる活動が『冬の生活』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、はじく、ころがす、つむなどの遊び方をもとにおもちゃを作っていく活動が『あつめたものであそんでみよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、絵を見て話し合い、学校でやってみたいことを考える活動が『わたしできるよ』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、家族の様子を写真に撮り、友達と家族の仕事について交流する活動が『いえの人のようすを見てみよう』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、学んだことを振り返り、確かめる活動が『こんなことはあつたかな』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『あんぜん』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、2年生までにできるようになったことをまとめる活動が『こんなにせいちょうしたんだね』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、町探検をして、町のよいところを伝える活動が『まちのすてきをつたえよう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 児童の興味・関心を喚起させるような題材として、前回の町探検の経験をもとに計画を立てる活動が『もつともつとまちたんけん』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 上巻には学校生活に関する『なかよしいっぱいがっこうたんけん』など9単元、下巻には身近な地域に関する『まちをたんけん大はっけん』など9単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン』『見出しや本文等には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

教科種目名《生活(生活)》

※詳細については、資料Ⅱ(生活-8～生活-16)を参照

発行者の略称	啓林館	書名	わくわく せいかつ 上 いきいき せいかつ 下
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、友達と話し合いながら身近にある材料でおもちゃを作る活動が『自分でおもちゃを作ってみよう』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、水遊びをする際に、遠くに水を飛ばすための工夫を考える活動が『なつのあそびをたのしもう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、1年生に本を読んであげたことなどを振り返り、まきものにまとめる活動が『自分のせい長をまとめよう』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、生き物を元いた場所に返すことがよいかを考える活動が『はっ見したことをつたえ合おう』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「公共心」について、町探検をする際のルールやマナーを考える活動が『こんなときどうしよう』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、駅員に仕事で大切にしていることをインタビューする活動が『町の人に聞いてみよう』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、学校探検で友達と調べたことを共有して、さらに知りたいことをまとめる活動が『がっこうをたんけんしよう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連して、パタパタカーの作り方の説明文を書く活動が『あそび方やルールをくふうしよう』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、虫の成長やおもちゃ作りなど伝える内容や伝える相手に合わせた伝え方を知る活動が『まとめようつたえよう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、おはじきなどの伝承遊びを地域の方に教えてもらい、一緒に遊ぶ活動が『むかしからのあそびをたのしもう』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、見る、聞く、嗅ぐなどの諸感覚を働かせて校庭で秋探しを行う活動が『あきの校庭いに出てみよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、入学前を振り返り、学校でやってみたいことを考える活動が『がっこうだいすきいちねんせい』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、植物の成長の様子を写真に撮り、成長過程を時系列に並べ、以前の様子と比較する活動が『せわをしよう』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、学校探検の際に人と接する時のマナーが『がっこうのひとはなしてみよう』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『めがでるようす』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、お世話になった方に自分のことをインタビューする活動が『自分についてしらべよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、町探検をして、町のよいところを発表する活動が『すてきをつたえるじゅんぴをしよう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 児童の興味・関心を喚起させるような題材として、自分が育てる植物を自分で選ぶ活動が『どんなはなをそだてたいかな』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 上巻には学校生活に関する『いくぞ！ がっこうたんけんたい』など9単元、下巻には身近な地域に関する『町のすてきつたえたい』など9単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《生活(生活)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、自分たちで作ったおもちゃで遊んでみて思ったことを友達と話す活動が『もっとよくうごくおもちゃにしよう』に設定され、春に行われる行事や生き物を見つける活動が『春の暮らし』に設定されている。
大日本	「知識・技能」の習得について、ことごと車やゴムロケットなどのおもちゃを作って、面白さを友達と共有する活動が『くふうしたら楽しいよ』に設定され、秋の虫を採集する活動が『むしとなかよくなろう』に設定されている。
学図	「知識・技能」の習得について、ばたばたカーやゴムロケットなどのおもちゃの遊び方を友達に紹介する活動が『作ったおもちゃであそぼう』に設定され、虫の特徴を観察する活動が『虫となかよくなろう』に設定されている。
教出	「知識・技能」の習得について、関わり方により対象が変容していくことを観察する活動が『そだてたからわかったよ』に設定され、作ったおもちゃの特徴を学習カードにまとめる活動が『うごくおもちゃを作ろう』に設定されている。
信教	「知識・技能」の習得について、飼っているヤギが妊娠していることに気づき、地域の方に尋ねる活動が『いきものといっしょ②』に設定され、友達と一緒に牛乳パックやペットボトルを重ねて水に浮かせる活動が『どんなふねにしようかな』に設定されている。
光村	「知識・技能」の習得について、友達と動きを確かめながら、おもちゃ作りで紙コップをより高く飛ばすために工夫する活動が『じまんのおもちゃにしよう』に設定され、日常生活に必要な習慣や技能を知る活動が『ひろがる せいかつてん』に設定されている。
啓林館	「知識・技能」の習得について、友達と話し合いながら身近にある材料でおもちゃを作る活動が『自分でおもちゃを作ってみよう』に設定され、観察や記録の仕方などを知る活動が『がくしゅうずかん』に設定されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、水をどうしたら遠くに飛ばせるかを考える活動が『みずであそぼう』に設定され、学校や地域のことを発表して友だちと交流する活動が『みつけたことをつたえよう』に設定されている。
大日本	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、しゃぼん玉を大きくするための工夫を考える活動が『なつはおもしろいことがいっぱい』に設定され、地域で働く方の工夫を考える活動が『町のキラリをひろげたい』に設定されている。
学図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、雨の日の遊びの工夫を考える活動が『あめとあそぼう』に設定され、風を受けて走るおもちゃの車がどうすればはやく走るかを考える活動が『うごくおもちゃを作ろう』に設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、和菓子屋で働く方の笑顔の秘密を見つける方法を考える活動が『もっと知りたいことを話そう』に設定され、春と夏の季節の遊びをまとめる活動が『たつぷりあそんできづいたよ』に設定されている。
信教	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、地域の商店で働く方に取材したことを発表する活動が『おみせやさん』に設定され、地域の方に聞いた民話を調べ、紙芝居で発表する活動が『ちいきのかたりべ』に設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、学校探検で発見したことを絵で発表する活動が『みつけたよ、わかったよ』に設定され、町探検で調べたことを新聞やポスターなどでまとめる活動が『しらべたことをまとめよう』に設定されている。
啓林館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、学びのキーワードをもとに試行錯誤する活動が『あきのおもちゃをつくってあそぼう』に設定され、水遊びをする際に、遠くに水を飛ばすための工夫を考える活動が『なつのあそびをたのしもう』に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、友達と一緒にできるようになったことを振り返って絵本などにまとめる活動が『自分のことをまとめよう』に設定され、生き物の世話の仕方を振り返る活動が『生きものをそだてよう』に設定されている。
大日本	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、育てた野菜を使って家族のために料理を作る活動が『みんなで食べるとおいしいね』に設定され、アサガオの芽に名前をつける活動が『はじめまして□さん』に設定されている。
学図	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、幼児期から2年生までの自分を比べて成長をまとめる活動が『わかったことをまとめよう』で設定され、町にある工夫を見つける活動が『もっと見つけたいな』に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学校探検で学んだ気づきを家族に伝える活動が『もっともつりたいな』に設定され、野菜を育てることで農家の方の気持ちを知る活動が『またそだてたいな』に設定されている。
信教	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、花の数の変化や様子から開花への期待を膨らませる活動が『わたしのあさがお』に設定され、地域の方にお世話になり、豆腐が作れたことの感謝を伝える活動が『おもいでいっぱい生活科』に設定されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、植物の変化や育ち方の違いから開花への期待を膨らませる活動が『せわをしよう』に設定され、生活科の学習を振り返り、支えてくれた人を思い出す活動が『こんなにせいちょうしたんだね』に設定されている。
啓林館	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、1年生に本を読んであげたことなどを振り返り、まきものにまとめる活動が『自分のせい長をまとめよう』に設定され、1年生と一緒に遊ぶ計画を立て、実行する活動が『みんなであそぼう』に設定されている。



2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力] の「いのちの大切さ」について、児童がうさぎを抱き、うさぎの世話の中から温かさを感じる活動が『どうぶつのせわをしよう』に設定され、生き物の成長の様子をまとめる活動が『生きもののことをふりかえろう』に掲載されている。
大日本	[思いやる力] の「いのちの大切さ」について、生き物を扱う際の注意点や世話の仕方が『いきものとなかよくなるよう』に設定され、虫が自分と同じように生き物を食べて生きていることを観察する活動が『生きているってすごい』に設定されている。
学図	[思いやる力] の「いのちの大切さ」について、責任を持って生き物を飼いつづけることの大切さを考える活動が『かいつづけることができるかな』に設定され、ダンゴムシの脱皮や生命誕生を観察する活動が『生きもののふしぎを見つけよう』に設定されている。
教出	[思いやる力] の「いのちの大切さ」について、トンボの脱皮ややごを観察する活動が『いきものをかってみよう』に設定され、生き物を飼う際に生き物の気持ちになって接する活動が『生きものをさがそう』に設定されている。
信教	[思いやる力] の「いのちの大切さ」について、ヤギの出産の様子や子育てを見守る活動が『いきものといっしょ③』に設定され、ウサギなどの生き物を飼う際に生き物が住みやすい小屋を作る活動が『よるこんでくれるかな』に設定されている。
光村	[思いやる力] の「いのちの大切さ」について、ダンゴムシの赤ちゃんが生まれたことを発見する活動が『生きものをくわしく見てみよう』に設定され、生き物の世話の仕方を知る活動が『生きもののせわをしよう』に設定されている。
啓林館	[思いやる力] の「いのちの大切さ」について、動物の飼い方を知る活動が『生きものとなかよくなるよう』に設定され、生き物を元いた場所に返すことがよいかを考える活動が『はっ見たことをつたえ合おう』に設定されている。
⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力] の「公共心」について、通学路を歩く際のルールや公共施設にある設備の工夫を知る活動が『つうがくろのあんぜん』に設定され、図書館を色々な人が利用できるようにするための工夫を見つける活動が『図書かんのことを聞いてみよう』に設定されている。
大日本	[たくましく生きる力] の「公共心」について、歩道を歩く、車に気をつけるなどの交通マナーを守って町探検を行う活動が『しゅっぱつ！町のキラリたんけんたい』に設定され、インタビューをする際のマナーを守って学校探検を行う活動が『みんなやさしいね』に設定されている。
学図	[たくましく生きる力] の「公共心」について、登下校の際に安全に通学路を歩くことや危険な場所に気を付ける活動が『あんぜんないきかえり』に設定され、まちの図書館と学校の図書室を比べる活動が『まちの図書かんに行こう』に設定されている。
教出	[たくましく生きる力] の「公共心」について、道路の歩き方、横断歩道でのマナーを守って町探検を行う活動が『たんけんの計画を立てよう』に設定され、図書館を使う人が楽しむための工夫を考える活動が『みんなで図書かんに行こう』に設定されている。
信教	[たくましく生きる力] の「公共心」について、登下校中に気を付けることや危険な場所を知る活動が『きをつけてかえるよ』に設定され、バスや電車に乗った時にマナーを守って町探検を行う活動が『でんしゃにのって』に設定されている。
光村	[たくましく生きる力] の「公共心」について、文字を大きくする機械や本を直す人がいるなどの工夫を知る活動が『図書かんの人と話をしよう』に設定され、町を探検する時のルールやマナーを考える活動が『春のまちたんけんさくせんかいぎ』に設定されている。
啓林館	[たくましく生きる力] の「公共心」について、利用する人が使いやすくなるための図書館や駅の工夫を知る活動が『みんなでつかう町のしせつに行こう』に設定され、町探検をする際のルールやマナーを考える活動が『こんなときどうしよう』に設定されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、和菓子屋など地域で働く方に仕事のやりがいをインタビューする活動が『まちの人に聞きに行こう』に設定され、地域ボランティアの方に感謝を伝える活動が『みんなでつうがくろをあるこう』に設定されている。
大日本	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、郵便局で働く方などに仕事のやりがいをインタビューする活動が『しゅっぱつ！町のキラリたんけんたい』に設定され、家族と野菜の収穫を喜び、料理をする活動が『みんなで食べるとおいしいね』に設定されている。
学図	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、パン屋で働く方や消防士に仕事のやりがいをインタビューする活動が『まちの人の話を聞こう』に設定され、農家の方への感謝の気持ちを新聞にまとめる活動が『野さいさんありがとう』に設定されている。
教出	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、自分が育てた野菜の収穫の喜びや農家の方へ感謝する活動が『たくさんみのったよ』に設定され、靴屋や図書館で働く方のやりがいをインタビューする活動が『えがおのひみつをさがろう』に設定されている。
信教	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、豆の収穫の喜びや店の人に相談して豆腐を作る活動が『しゅうかくいわい』に設定され、ケーキ屋で働く方にケーキの作り方をインタビューしている活動が『おみせやさん』に設定されている。
光村	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、和菓子屋で働く方が行っている工夫をインタビューする活動が『まちの人の話を聞きに行こう』に設定され、登下校を見守る方々にインタビューする活動が『つうがくろをたんけんしよう』に設定されている。
啓林館	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、駅員に仕事で大切にしていることをインタビューする活動が『町の人に聞いてみよう』に設定され、通学路で児童を見守っている人達がいることを知る活動が『がっこうのまわりをあるいてみよう』に設定されている。

3 内容と構成

○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、友達と対話をしながらアサガオの種を数え、取った種をどうするかを考える活動が『たねをとろう』に設定され、対話の中から自分が育てた野菜と他の野菜を比べる活動が『学びをふかめる』に設定されている。
大日本	主体的・対話的で深い学びについて、やりたいことを書く活動や問題を話し合う活動が『はなややさいおおきくなってね』に設定され、おもちゃ作りで友達の工夫を聞いて、おもちゃを改良する活動が『くふうしたら楽しいよ』に設定されている。
学図	主体的・対話的で深い学びについて、日当たりなどによってアサガオの種を植えたプランターをどこに置くか自分で考える活動が『たねをうえよう』に設定され、友達のいいところを伝え合う活動が『みんなのいいところを見つけよう』に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、調べ、教えることや思い出を伝える活動が『まいにちみよう』に設定され、自分が育てているアサガオの成長を絵や日記などで表す活動が『なにをかんじたかな』に設定されている。
信教	主体的・対話的で深い学びについて、友達との対話の中で気付きを広げる活動が『おおきくなってきたね』に設定され、牛乳パックを使い、友達と協力して子どもが乗れるほどの船を作る活動が『どんなふねにしようかな』に設定されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、自分で選ぶ活動や対話の中で気付きを広げる活動が『さいてほしいなわたしのはな』に設定され、植物の世話をする中で、友達と対話をしながら困ったことを解決しようとする活動が『せわをつづけよう』に設定されている。
啓林館	主体的・対話的で深い学びについて、自分で選ぶ活動や問題に向き合う活動が『わたしのはなをそだてよう』に設定され、学校探検で友達と調べたことを共有して、さらに知りたいことを生み出す活動が『がっこうをたんけんしよう』に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、算数科と関連して、アサガオの種を数える活動が『たねをとろう』に設定され、図画工作科と関連して、ドングリや落ち葉を使っておもちゃを作る活動が『あきのおもちゃをつくろう』に設定されている。
大日本	カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連して、これから取り組みたいことを書く活動が『みらいにむかってしゅっぱつ』に設定され、道徳科と関連して、先生や友達に感謝の気持ちを手紙で伝える活動が『ありがとうをとどけよう』に設定されている。
学図	カリキュラム・マネジメントについて、図画工作科と関連して、ドングリや落ち葉を使っておもちゃを作る活動が『見つけたあきであそぼう』に設定され、国語科と関連して、1年生を振り返り、1年間で学んだことを作文や手紙などにまとめる活動が『1年生をふりかえろう』に設定されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、特別活動と関連して、災害時の約束などの安全について考える活動が『学びのポケット』に設定され、図画工作科と関連して、ドングリや落ち葉でおもちゃを作る活動が『見つけたあきでつくろう』に設定されている。
信教	カリキュラム・マネジメントについて、図画工作科と関連して、ドングリでこまなどのおもちゃを作る活動が『あきとあそぼう』に設定され、音楽科と関連して、一緒に過ごし世話をしてきたヤギの歌を作る活動が『いきものといっしょ④』に設定されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連して、町探検で学んだことをどのように伝えるかを考える活動が『つたえたいことをもっとしらべよう』に設定され、図画工作科と関連して、ドングリや落ち葉を使っておもちゃを作る活動が『おちばや木のみでつくろう』に設定されている。
啓林館	カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連して、バタパタカーの作り方の説明文を書く活動が『あそび方やルールをくふうしよう』に設定され、算数科と関連して、育てた植物の種の数を数える活動が『たねをとろう』に設定されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、観察カードに記入する際の視点や必要な事柄、自分の気持ちを書く、話す活動が『はなのようすをつたえよう』に設定され、必要な事柄を選び、わかりやすく表現する活動が『見つけたことをつたえよう』に設定されている。
大日本	言語能力の育成について、生活科で学んだことをパンフレットにまとめる活動や画像を使って発表する活動が『ようこそ自分のはっぴょう会へ』に設定され、生活科の学習に関する言語を使う活動が『せいかつことば』に設定されている。
学図	言語能力の育成について、発表会で説明する際に、作文や絵を使うなど伝える工夫を考える活動が『わたしのこと、しらべてきたよ』に設定され、見つけたことや調べたことを、手紙などに記録する活動が『学び方図かん書く』に設定されている。
教出	言語活動の育成について、自分の成長の記録をまとめ、友達と交流する活動が『何をかんじたかな』に設定され、植物観察をする際のポイントになる触る、比べる、結びつけるなどの活動が『まいにちみよう』に設定されている。
信教	言語能力の育成について、自分の成長を文章で伝える活動が『ありがとう』に設定され、春探しで児童が見つけたツクシなどの植物やかえるなどの生き物について友達と伝え合う活動が『はるのおくりもの』に設定されている。
光村	言語能力の育成について、観察を記録する際のポイントや視点と言葉を知る活動が『ひろがるせいかつじてん』に設定され、アサガオの成長の様子を記録する際のポイントを知り、学習カードを書く活動が『せわをしよう』に設定されている。
啓林館	言語能力の育成について、虫の成長やおもちゃ作りなど伝える内容や伝える相手に合わせた伝え方を知る活動が『まとめようつたえよう』に設定され、植物の日記カードの視点と言葉を知り、活用する活動が『せわをしよう』に設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、地域の方と一緒にかるたやお手玉などの遊びをする活動が『むかしからつたわるあそびをたのしもう』に設定され、地域の和菓子屋へ訪問するなどの活動が『まちのことを話そう』に設定されている。
大日本	伝統や文化に関する教育の充実について、日本各地の祭りや外国の祭り、盆踊りの様子を絵日記に描く活動が『夏休みにやりたいことはね』に設定され、世界のじゃんけんを行う活動が『@せかいのなにかま』に設定されている。
学図	伝統や文化に関する教育の充実について、こま回しやあやとり、けん玉などを地域の方に教えてもらう活動が『もっとあそびたいな』に設定され、伝統的な行事や地域の野菜を知る活動が『まちのきせつ春 かく地のようす』に設定されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、日本各地の伝統的な祭りを知る活動が『なつやすみをげんきにすごそう』に設定され、正月に行う凧揚げやかると、こま回しなどの伝承遊びを行う活動が『ふゆ休みをげんきにすごそう』に設定されている。
信教	伝統や文化に関する教育の充実について、凧揚げや羽根つきなどの正月に行う伝承遊びが『たのしいおしょうがつ』に設定され、地域の行事を知る活動が『みつけてみよう』に設定されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、日本各地の夏に行われる伝統的な祭りを知る活動が『いつてみたいなの、やってみたいなの』に設定され、札幌の雪まつりなど地域ごとに季節の行事があることを知り、自分の地域の行事を調べる活動が『冬の生活』に設定されている。
啓林館	伝統や文化に関する教育の充実について、けん玉やおはじきなどの伝承遊びを地域の方に教えてもらい、一緒に遊ぶ活動が『むかしからのあそびをたのしもう』に設定され、季節の行事や各地の伝統行事があることを知る活動が『春のまつり』に設定されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験学習の充実について、校庭で虫探しをする活動が『むしをさがそう』に設定され、紙コップやストローなどの身近な材料で作られたおもちゃを作る活動が『いろいろなおもちゃであそんでみよう』に設定されている。
大日本	体験学習の充実について、見る、聞く、触るなどの諸感覚を働かせて観察する活動が『まなびかためいじんかんさつめいじん』に設定され、地域の方と関わりあいながら町探検をする活動が『しゅっぱつ！町のキラリたんけんたい』に設定されている。
学図	体験学習の充実について、友達と野原へ行き、野草で草花遊びやタンポポの綿毛を吹いて遊ぶ活動が『みつけたはるであそぼう』に設定され、自分で作ったおもちゃを改良する活動が『うごくおもちゃを作ろう』に設定されている。
教出	体験学習の充実について、聞く、嗅ぐ、触るなどの諸感覚を働かせて春を感じる方法や、野草での草花遊びの活動が『はるをみつけにいこう』に設定され、地域の人と繰り返し関わる活動が『えがおのひみつをさがろう』に設定されている。
信教	体験学習の充実について、これから育てるアサガオの鉢選びや土づくりを友達と協力して行う活動が『めをだしてね』に設定され、他の単元との関連も図りながら進める活動が『だいでをそだてたいな』に設定されている。
光村	体験学習の充実について、身近な場所にいる生きものを見つける活動が『いきものを見つけよう』に設定され、はじく、ころがす、つむなどの遊び方をもとおもちゃを作っていく活動が『あつめたものであそんでみよう』に設定されている。
啓林館	体験学習の充実について、見る、聞く、嗅ぐなどの諸感覚を働かせて校庭で秋探しを行う活動が『あきの校庭に出てみよう』に設定され、野菜の様子を観察する活動が『せわをしよう』に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、入学前を振り返り、学校でやってみたいことを考える活動が『がっこうのいちにち』に設定され、学校を探検する活動が『はじめましてがっこう』に設定されている。
大日本	学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、入学前を振り返り、学校でやってみたいことを考える活動が『できるよやってみよう』に設定され、幼児と交流する活動が『だいすきな学校にようこそ』に設定されている。
学図	学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、イラストや写真を見て、学校でやってみたいことを考える活動が『どんなことをするのか』に設定され、幼稚園や保育園の先生と交流する活動が『だれにきこうかな』に設定されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、入学前を振り返り、学校でやってみたいことを考える活動が『はじめのいっほ』に設定され、幼児と交流する活動が『あたらしい1年生をむかえよう』に設定されている。
信教	学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、イラストや写真を見て、学校でやってみたいことを考える活動が『はじめましてせいかつか』に設定され、高学年の児童と一緒に登校するなどの活動が『うれしいないちねんせい』に設定されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、絵を見て話し合い、学校でやってみたいことを考える活動が『わたしできるよ』に設定され、幼児と交流する活動が『ようこそ、わたしたちの学校へ』に設定されている。
啓林館	学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、入学前を振り返り、学校でやってみたいことを考える活動が『がっこうだいすきいちねんせい』に設定され、幼児と交流する活動が『あたらしい1年生をしょうたいしよう』に設定されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、和菓子屋の商品をICT機器で撮影してデジタルアルバムにする活動が『まとめようつたえよう』に設定され、タブレットを活用して野菜の成長の写真を友達と見せ合う活動が『野さいのようすをつたえ合おう』に設定されている。
大日本	情報活用能力の育成について、タブレット端末を活用して写真に撮った虫を観察し、友達と交流する活動が『なかよくなったらわかったよ』に設定され、インタビューの場でタブレット端末を活用する活動が『わたしの町のはっけん』に設定されている。
学図	情報活用能力の育成について、タブレット端末やデジタルカメラの使い方を知り、利用する活動が『せいかつか まなびかたずかん』に設定され、町探検のインタビューで写真や動画を撮る活動が『まちたんけんに行こう』に設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、ICT機器を使用する際の注意事項、ルールやマナーを知る活動が『コンピュータをつかうとき』に設定され、自分が植えた植物の成長記録を画像で残す活動が『なえをうえよう』に設定されている。
信教	情報活用能力の育成について、1年生の思い出を振り返り、本やかるた、まきものにまとめる活動が『もうすぐ二ねんせい』に設定され、町探検で見つけたことを写真を使って発表する活動が『おみせやさん』に設定されている。
光村	情報活用能力の育成について、ICT機器をインタビューで使うときの注意点を知る活動が『じょうほうききをつかおう』に設定され、家族の様子を写真に撮り、友達と家族の仕事について交流する活動が『いえの人のようすを見てみよう』に設定されている。
啓林館	情報活用能力の育成について、植物の成長の様子を写真に撮り、成長過程を時系列に並べ、以前の様子と比較する活動が『せわをしよう』に設定され、タブレット端末の使い方や使用する際のマナーを知る活動が『タブレットを使おう』に設定されている。

⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さへの対応について、学校探検の際に気を付けることが『ともだちとがっこうをたんけんしよう』に掲載され、児童の実態に合わせた表現方法の例示が『見つけたことを話し合おう』に掲載されている。
大日本	児童の学習上の困難さへの対応について、学習の振り返りを表すマークが『たのしいよ1ねんせい』に掲載され、文章の書き出しと終わりが書かれたワークシート例が『わくわくどきどき夏休み』に掲載されている。
学図	児童の学習上の困難さへの対応について、見開きで単元内の活動が見渡せる構成になっており、学校探検の際のルールやマナーが書かれたイラストが『ものしりのうと』の『もっとくわしくしよう』に掲載されている。
教出	児童の学習上の困難さへの対応について、植物を育てることや観察するためのヒントが『たねをまこう』に掲載され、おもちゃ作りで気を付けることや失敗の例が『うごくおもちゃを作ろう』に掲載されている。
信教	児童の学習上の困難さへの対応について、イラストや写真で学習の見通しを示し、活動中の安全への配慮が『あぶない!』に掲載され、収穫した大豆が加工された食品の例である、みそやきなこが『何がつくれそうかな』に掲載されている。
光村	児童の学習上の困難さへの対応について、学んだことを振り返り、確かめる活動が『こんなことはあったかな』に掲載され、単元の始まりに見開きの野菜の写真が『おいしいやさいをそだてたい』に掲載されている。
啓林館	児童の学習上の困難さへの対応について、学校探検の際に人と接する時のマナーが『がっこうのひととはなしてみよう』に掲載され、ソーシャルスキルトレーニングが『気持ちをつたえよう』に掲載されている。
⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『みんなでつかうしせつのことを話し合おう』の『まちのしせつ』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、植物の特徴が『たねをとろう』の『しょくぶつずかん』に掲載されている。
大日本	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『キラリ町たんけんの計画を立てよう』の『インタビューのやり方』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、山や水辺にいる虫が『むしとなかよくなろう』の『がくしゅうどうぐばこ』に掲載されている。
学図	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『学び方図かん』の『道ぐのつかい方』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、植物の種、芽、花などの写真が『たねをうえよう』の『いろいろなはな』に掲載されている。
教出	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『わたしのまちの自まん』の『まちの自まん』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、季節の植物や虫が『生きもののわくわくクイズ』の『デジタルずかん』に掲載されている。
信教	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『あおぞら・そよかぜずかん』の『わたしのあさがお』などに示され、画像などにつながる二次元コードが掲載されている。また、夏に見られる虫が『あおぞら・そよかぜずかん』の『かがやく夏』に掲載されている。
光村	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『つうがくろをたんけんしよう』の『あんぜん』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、はさみやきりの使い方が『うごくおもちゃにちょうせんだ』の『どうぐ』に掲載されている。
啓林館	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『おおきなあれ』の『めがでるようす』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、おもちゃの作り方が『自分でおもちゃを作ってみよう』の『おもちゃの作り方いちらん』に掲載されている。
⑯ 知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成する題材として、工夫や配慮がなされているか。	
東書	知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、交通マナーなどを知る活動が『やくそく』に設定され、自分ができるようになったことを身近な人にインタビューする活動が『自分のことをまとめよう』に設定されている。
大日本	知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、安全を守る方法、人との接し方などを知る活動が『やくそく』に設定され、幼児期からの自分の成長をまとめる活動が『小さかったころの自分に会いに行こう』に設定されている。
学図	知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、電車やバスの乗り方を知る活動が『ものしりノート』に設定され、友達といいところを伝え合う活動が『みんなのいいところを見つけよう』に設定されている。
教出	知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、災害時に身を守る方法などを知る活動が『げんきにすごそう』に設定され、以前と今の自分を比べて成長をまとめる活動が『まわりの人に聞いてみよう』に設定されている。
信教	知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、生き物に触れる前後に手を洗うイラストが『きょうからいっしょ』に掲載され、幼児期の洋服やおもちゃを友達と見せ合う活動が『小さいころのわたし』に設定されている。
光村	知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、登下校の約束などを知る活動が『ひろがるせいかつてん』に設定され、2年生まででできるようになったことをまとめる活動が『こんなにせいちょうしたんだね』に設定されている。
啓林館	知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、健康や安全に過ごすための方法を知る活動が『がくしゅうずかん』に設定され、お世話になった方に自分のことをインタビューする活動が『自分についてしらべよう』に設定されている。

⑰ 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、工夫や配慮がなされているか。	
東書	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、自分が種を植えて成長を楽しみにしている活動が『たねをまこう』に設定され、自分が住んでいる町について調べ、友達と共有する活動が『まちのすてきを話し合おう』に設定されている。
大日本	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、通学路で街路樹を誰が育てているのかを考える活動が『つうがくろでみつけたよ』に設定され、町探検で出会った人を通して自分のよさを見つける活動が『わたしもキラリさんになれるかな』に設定されている。
学図	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、自分が見つけた秋の素材を使った活動が『あきをたのしもう』に設定され、お店で働く方々の工夫を知り、わかったことを発表する活動が『しらべたことをつたえよう』に設定されている。
教出	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、校庭などで生き物を探す活動が『生きものをさがそう』に設定され、町探検で地域で働く方にインタビューして体験をつたえ合う活動が『体けんをつたえ合おう』に設定されている。
信教	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、四季を通して、くり返し地域を訪れる活動が『いつものばしょへ』に設定され、地域の方が登下校を見守ってくれていることを知る活動が『きをつけてかえるよ』に設定されている。
光村	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、子ども110番の店の方と話をしている活動が『つうがくろをたんけんしよう』に設定され、町探検をして、町のよいところを伝える活動が『まちのすてきをつたえよう』に設定されている。
啓林館	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、通学路には標識や信号機があることを知る活動が『がっこうのまわりをあるいてみよう』に設定され、町探検をして、町のよいところを発表する活動が『すてきをつたえるじゅんぴをしよう』に設定されている。
⑱ 児童の興味・関心を喚起させるような題材として、「試す」、「見通す」などの工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の興味・関心を喚起させるような題材として、アサガオやミニトマトなどの植物の成長過程や野菜への思いを記録する活動が『ぐんぐんそだてわたしの野さい』に設定され、虫がどの場所にいるか考えて探す活動『むしをさがそう』に設定されている。
大日本	児童の興味・関心を喚起させるような題材として、秋の自然物を使った遊びや幼児と交流する活動が『ようこそあきのテーマパークへ』に設定され、地域の方との交流する活動が『わたしの町はっけん』に設定されている。
学図	児童の興味・関心を喚起させるような題材として、夏に見られる57種類の生き物の絵を見つける活動が『生きものと友だち』に設定され、友達と関わりながら秋の自然物を使っておもちゃを作る活動が『見つけたあきであそぼう』に設定されている。
教出	児童の興味・関心を喚起させるような題材として、ドングリや落ち葉など秋の自然物でおもちゃを作る活動が『見つけたあきでつくろう』に設定され、学校探検で見つけたことを共有する活動が『なにをかんじたかな』に設定されている。
信教	児童の興味・関心を喚起させるような題材として、2年間、赤ちゃんからヤギを育て、関わりながら世話をしている活動が『いきものといっしょ』に設定され、春に野原で虫取りなどをする活動が『はるとなかよし』に設定されている。
光村	児童の興味・関心を喚起させるような題材として、前回の町探検の経験をもとに計画を立てる活動が『もっともっとまちたんけん』に設定され、手作りおもちゃの遊び方を考える活動が『じまんのおもちゃにしよう』に設定されている。
啓林館	児童の興味・関心を喚起させるような題材として、自分が育てる植物を自分で選ぶ活動が『どんなはなをそだてたいかな』に設定され、地域の方と関わり合う活動が『町にはどんな人がいるのかな』に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	上巻は第1学年を対象として、学校生活や身近な自然などに関する『がっこうだいすき』や『はなをさかせよう』などが9単元、下巻は第2学年を対象として、身近な地域に関する『どきどきわくわくまちたんけん』など9単元で構成されている。
大日本	上巻は第1学年を対象として、学校生活や身近な自然などに関する『みんななかよし』や『あきだいすき』などが4単元、下巻は第2学年を対象として、身近な地域に関する『わたしの町はっけん』など6単元で構成されている。
学図	上巻は第1学年を対象として、学校生活や身近な自然などに関する『がっこうたんけん』や『わたしのあさがお』などが7単元、下巻は第2学年を対象として、身近な地域に関する『まちたんけん』など5単元で構成されている。
教出	上巻は第1学年を対象として、学校生活や身近な自然などに関する『わくわくどきどきしょうがっこう』や『きせつとなかよしはる・なつ』など9単元、下巻は第2学年を対象として、身近な地域に関する『まちが大すきたんけんたい』など7単元で構成されている。
信教	上巻は第1学年を対象として、学校生活や身近な自然などに関する『うれしいないちねんせい』や『あきがいっぱい』など17単元、下巻は第2学年を対象として、身近な地域に関する『わたしがすむ町』など13単元で構成されている。
光村	上巻は第1学年を対象として、学校生活や身近な自然などに関する『なかよしいっぱいがっこうたんけん』や『あきとともだち』など9単元、下巻は第2学年を対象として、身近な地域に関する『まちをたんけん大はっけん』など9単元で構成されている。
啓林館	上巻は第1学年を対象として、学校生活や自然などに関する『いくぞ!がっこうたんけんたい』や『あきとなかよし』など9単元、下巻は第2学年を対象として、身近な地域に関する『町のすてきつたえたい』など9単元で構成されている。
⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA4判が採用されている。
大日本	判型はA4判が採用されている。
学図	判型はA4変型判が採用されている。
教出	判型はA4判が採用されている。
信教	判型はA B判が採用されている。
光村	判型はA4判が採用されている。
啓林館	判型はA B判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適切するようにデザインしています。』と表記されている。
大日本	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルデザインをふまえた配色を工夫するなど、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。』と表記されている。
学図	『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しています。』『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
信教	『この教科書は、必要な情報がより多くの人に伝わるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。』と表記されている。
光村	『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン』『見出しや本文等には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています。』と表記されている。
啓林館	『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	下巻 43ページ 『七夕まつり（神奈川県）』 下巻 67ページ 極楽寺駅
大日本	上巻 60ページ 『しょうなんひらつかたなばたまつり 神奈川県平塚市』 下巻 50ページ 『あまったあぶらで石けんを作る。（神奈川県横浜市）』
学図	下巻 37ページ 『春節（神奈川県）』
教出	下巻 26～27ページ 柿生駅、川崎市立麻生図書館柿生分館、川崎市消防局、『神奈川県川崎市のお友だちのまちたんけん』 下巻 36ページ 関内・山下公園等の案内板 下巻 105ページ 長津田歴史探訪マップ
信教	なし
光村	上巻 55ページ 『神奈川県藤沢市』
啓林館	下巻 10ページ 『相模の大凧まつり（神奈川県相模原市）』 下巻 42ページ 『公民館（神奈川県相模原市）』

② 一冊ごとの重量（g）

発行者名	総冊数	上	下	3年上	3年下	4年上	4年下	5年上	5年下	6年上	6年下
東書	2	347	312								
大日本	2	337	310								
学図	2	353	334								
教出	2	314	314								
信教	2	309	260								
光村	2	400	334								
啓林館	2	320	285								